

新たな基本計画において重点的に取り組む事項（案）

【少子化の要因】

【政策分野】

【重点的に取り組む事項】

◎20～24歳の社会移動(2019～2023)(富山県)
男性 平均△371人/年 女性 平均△722人/年

女性の社会減
(特に20代前半)

◎25～29歳の未婚率(富山県)
男性 1970: 33.3%→2020: 75.0%
女性 1970: 9.8%→2020: 61.2%

未婚率の上昇

◎理想と実際に欲しいこどもの数
(富山県)
理想のこどもの数: 3人
実際に欲しいこどもの数: 2人

夫婦が希望するこどもの
数を持っていない

【出生数/婚姻数】(富山県)
1970…'80…'90…2022
1.8 2.2 1.9 1.7

就労・職場環境

出会い・結婚

社会気運

経済的負担

子育て期の支援

【こどもや子育て家庭の課題】

こどもや子育て家庭
の孤立・貧困や地域
の子育て力の低下
などが顕在化

①(新)若者・女性の転入・定着の促進

中高生へのアプローチ(多様な選択肢)、
企業情報サイトによる情報発信、UIターン
の促進、企業誘致、スタートアップ支援 等

②(新)若い世代から選ばれる雇用環境の整備

ジェンダーレス雇用(職域、賃金等)、
アンコンシャスバイアスへの気づき、共働き・共
育ての推進、テレワーク等柔軟な働き方の推進 等

③(拡)出会い・結婚の希望を叶える支援

具体的な結婚行動に繋げる機会の創出、
企業でのイベント、若者の交流機会の創出、
アドアによる支援の拡充 等

④(新)ライフプランを考える機会の充実

ライフプラン形成支援、(プレコンセプ
ションケア)、所得や雇用の不安払拭 等

⑤(拡)こども・若者・子育てを社会全体で支
え合う気運の醸成

こどもまんなか応援サポーター宣言、
ベビーファースト運動、とやま子育て応援団、
こどもファスト・トラックの設置促進 等

⑥(拡)経済的負担の軽減

子育て支援ポイント制度、こども医療費や
不妊治療費の助成、保育料の無償化・軽減、
育児負担軽減策(ヘルパー等)の活用促進、
教育費の負担軽減 等

⑦(拡)こども・若者、子育て当事者のライフ
ステージに応じた切れ目ない支援

プレコンセプションケア、産前産後ケア、
保育サービスの充実、こども・若者相談支援
体制の整備、魅力ある遊び場づくり 等

⑧(新)様々な困難を抱えるこどもへの支援や
こどもの居場所づくりの推進

こどもの貧困対策、児童虐待防止、いじ
め・不登校対策、ヤングケアラー支援、こど
もの居場所づくり 等